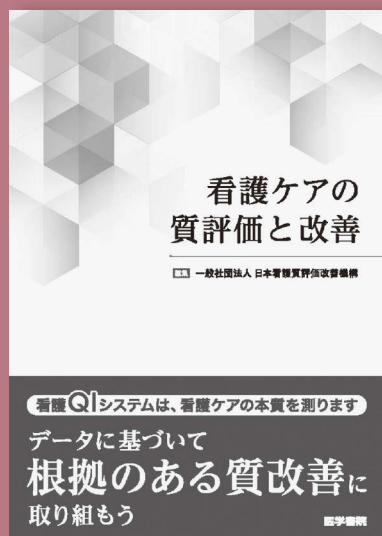


書評

看護ケアの
質評価と改善

- 著 一般社団法人日本看護質評価改善機構
- 定価 3300 円 (本体 3000 円 + 税 10%)
- 判型 B5
- 頁数 176
- 発行 医学書院

評者

東京臨海病院 看護部長
佐々木誠子

忙しい日々の中での質向上への
こだわりに希望が持てる 1 冊看護ケアの質改善につながる
看護 QI システム

東京臨海病院では、「Web 版看護ケアの質評価総合システムを用いた看護の質評価に関する研究」(科学研究費助成事業)への協力(2006~2008 年度)を経て、2010 年度から隔年で 12 病棟が「看護ケアの質評価・改善システム(以下、看護 QI システム)」による質評価を受け、看護ケアの質改善に取り組んでいます。

看護 QI システムでは、看護の質を、3 つの側面(構造、過程、アウトカム)と、6 つの領域(患者への接近、内なる力を強める、家族の絆を強める、直接ケア、場をつくる、インシデントを防ぐ)の評価指標を用いて評価します。6 つの領域は、2000 年以前の研究の初期段階に開発されたものですが、現在の臨床現場にも見事にマッチしています。また、このシステムは、看護ケアの“過程評価”を行うことができるのが大きな特徴であり、過程の厳密な評価により、看護ケアの質改善につなげることができると示されています。

看護 QI システムでは、自己評価、患者の評価、第三者の評価のデータから、ケアの質についての評価結果と、質向上を目指した改善点についての報告書(リコメンデーション)を作成し受審施設にフィードバックします。

分かりやすく、すぐに役立つ内容

本書では、評価指標の開発、評価の実際、看護ケアの質改善に向けてどのように取り組むかが、「看護ケアの質評価と改善活動の動向・改善への取り組み」「看護ケアの質の評価」「看護ケアの質改善」の 3 つの Chapter で、詳細かつ分かりやすく示されています。

Chapter 3 で紹介されている、評価を

改善につなげる「FOCUS PDSA」の 9 つのステップは、看護師長との学習会ですぐにでも共有したい内容となっています。また、実際に質改善に取り組んだ事例を基に、病棟での質改善のポイントを紹介している「評価と改善の事例」では、「看護師長さんの頭の中」という視点がとてもユニークでした。

さらに Chapter 1 で「看護 QI システムにできること」として提示されている 7 つの項目(看護ケアの改善のポイントが明確になる、Unit Base で評価できる、病棟の目標設定の方向性を検討できる、経営戦略やマネジメントに活用できる、評価対象の拡大、「業務改善」から「ケアの質向上」へ、ベンチマークとしてデータを示すことができる)にも着目する価値が大いにあります。

課題解決の糸口が見つかる

今回、本書で、看護 QI システムの開発に至るまでの有用な知見や、評価の仕組み、改善につなげるための詳細な方策に触れ、2020 年に受審した際の質評価報告書を見直しました。報告書では、「現在も続くコロナ禍での看護の質改善の糸口になるのではないか」「管理者育成に活用できるのではないか」、そう思わずにはいられない内容が網羅されていました。これこそが本書が誕生した意義ではないかと勝手に解釈しています。

看護部長として、タスクに追われているスタッフの現状を受け止め、改善していくのはもちろんのこと、私たちは看護のプロであり、当然、看護の質向上へのこだわりは捨てられないと心底感じています。本書との出会いは、日頃悩まされている「なぜそうなる?」と思ってしまう現象が、看護の質評価と改善活動により、なんとかなるのではないかとという期待を持たせてくれるものとなりました。